

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 739 号	氏名	加茂泰広
学位審査委員	主査	川上 純	
	副査	吉浦孝一郎	
	副査	江口 晋	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究の目的は、肝臓で発現が豊富な microRNA-122 (miR-122) と C 型慢性肝炎における interferon (IFN) 治療効果を解析したものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 Interleukin (IL) 28B 遺伝子一塩基多型 (IL-28BSNPs) (rs8099917) の情報が明らかで、かつ、IFN 治療を行った serotype I 型 C 型慢性肝炎患者 51 名を対象に、IFN 治療前の肝生検組織から microRNA を抽出し、miR-122 発現量を測定した。IFN 治療効果はウイルス完全消失 (Sustained viral response : SVR) で評価し、miR-122 発現量と IL-28BSNPs、IFN 治療効果、患者の生化学因子、肝生検組織学因子との関連を解析しており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、miR-122 と IL-28BSN には相関はなく、miR-122 の発現と肝の脂肪沈着には負の相関を認めた。SVR に寄与する因子の単変量解析では性別、miR-122 発現量、HbA1C が抽出された。多変量解析では miR-122 発現量のみが有意な因子として抽出され、今後の C 型慢性肝炎に対する IFN 治療効果の予測や病態解析に関する研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は C 型慢性肝炎患者に対する IFN 治療効果の予測に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			